

麻酔科

1. スタッフ (2024年4月1日現在)

科 長（准教授）	飯塚 悠祐
医 員（講師）	大塚 祐史
（助教）	瀧澤 裕
	宮澤 恵果
病院助教	北島明日香
	澤田 郁美
	深野賢太朗
	千葉 圭彦
その他シニアレジデント	福田 有
	計18名

2. 診療科の特徴

- 認定施設
日本麻醉科学会専門医研修施設
心臓血管麻醉専門医認定施設

- 認定医

- 日本麻醉科学会指導医 3 名
- 日本麻醉科学会専門医 9 名
- 心臓血管麻醉専門医 4 名
- 小児麻醉認定医 2 名
- 日本集中治療医学会専門医 2 名
- 日本救急医学会専門医 5 名
- ペインクリニック学会専門医 1 名
- 緩和医療学会専門医 1 名

3. 診療実績

当院麻酔科は手術部と集中治療部からなり、ここでは手術部の実績について述べる。中央手術部は手術室13室および日帰り手術室3室、産科手術室1室を有している。近年の手術件数は増加傾向であり、2024年は計7,667件の手術を実施した。このうち5,799件は麻酔科管理である。手術の内訳は下記の通り（診療科別手術数）であるが、当手術部の特徴は心臓血管外科症例や呼吸器外科症例等の胸部外科症例が多いことがあげられる。また、ハイブリッド手術室においては胸部大動脈瘤、腹部大動脈瘤に対してのステントグラフトのみならず、TAVIやMitraclipも施行している。ロボット支援手術についてもロボット（daVinci）を2台有しており、それらを使用した手術数も増加の一途をたどっている。また2024年度より麻酔科医による無痛分娩も週1日ではあるが開始している。

定時手術のみならず、近隣からの緊急手術依頼も全て受け入れるよう、手術部の看護師等とも協力して日々努

力しているところである。今後も地域医療に貢献できるよう研鑽を積んで参りたい。

麻酔科管理の麻酔法分類は以下参照

<麻酔法分類>

	2024年
全身麻酔（吸入）	1,198
全身麻酔（TIVA）	3,079
全身麻酔（吸入）+硬・脊・伝麻	401
全身麻酔（TIVA）+硬・脊・伝麻	744
脊髄くも膜下硬膜外併用麻酔（CSEA）	3
硬膜外麻酔	3
脊髄くも膜下麻酔	214
伝達麻酔	6
その他	157

診療科別手術数は以下の通り。

<診療科別手術数>

診療科	2024年
外科（小児外科含む）	1,123
心臓血管外科	758
呼吸器外科	762
脳神経外科・脳血管内治療部	521
泌尿器科	659
整形外科	302
婦人科	397
産科	234
耳鼻咽喉科・頭頸部外科	591
形成外科	432
眼科	1,318
歯科口腔外科	196
皮膚科	70
循環器内科	133
腎臓内科	132
消化器内科	8
血液科	27
麻酔科	4

4. 教育活動

毎朝の手術患者の情報共有（モーニングカンファレンス）に加え、ジュニアレジデント・シニアレジデントに対しては、実際の麻酔を通じて手技や必要な生理学的知識・麻酔の考え方等について直接指導を行っている。またシニアレジデント向けレクチャーや月2回の抄読会に加え、集中治療部と合同の月1回のグランドラウンドを行っている。外部病院への派遣研修を積極的に行ってお

り、国内の有名病院（川崎幸病院、榎原記念病院、三井記念病院等）での実績がある。

5. 研究・学会活動

臨床で多忙を極める中、臨床研究の実施及び指導も行っている。月1回のリサーチミーティングでリサーチシードの探索及び各臨床研究の進捗確認を実施している。

6. 今後の計画

①診療の質の更なる向上

シニアレジデントの教育を通じ、全体の底上げを図る。積極的な外部研修を通じて多施設のよりよいプラクティスを導入し、自らの臨床を見つめなおし、より質の高い診療へとつなげる。

②断らない手術室

地域医療に麻醉科として貢献するため、定時手術のみならず、緊急手術を今以上に迅速に安全により多く実施できるよう、手術室の体制づくりに励む。

③優れた若手医師の育成

当センター麻酔科の目標として集中治療部での研修を通じて周術期医療のスペシャリストを育成することにある。さらには医育機関として、臨床のみならず研究面でもリサーチマインドを有した臨床にも研究にも優れた医師を育成していきたい。